

# 足立区の給与・定員管理等について

平成23年3月

## 1 総括

### (1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (22年4月1日現在)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率 (B/A)	(参考)20年 度の人件費率
21年度	人 643,077	千円 237,478,290	千円 9,376,693	千円 37,963,462	% 16.0	% 17.7

人件費は、一般職員に支給する給与である職員給与と、区長などの特別職や議員に支給する給料・報酬・手当のほか、共済費(社会保険料の事業主負担分)などの合計  
普通会計は、地方公共団体相互間の比較をするため、全国同一基準で集計した統計上の会計

### (2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区分	職員数 (A)	給与				1人当たり 給与費 (B/A)	(参考)特別区 平均1人当 り給与費
		給料	職員手当	期末・ 勤勉手当	計(B)		
21年度	人 3,690	千円 14,308,076	千円 4,749,024	千円 6,052,173	千円 25,109,273	千円 6,805	千円 7,110

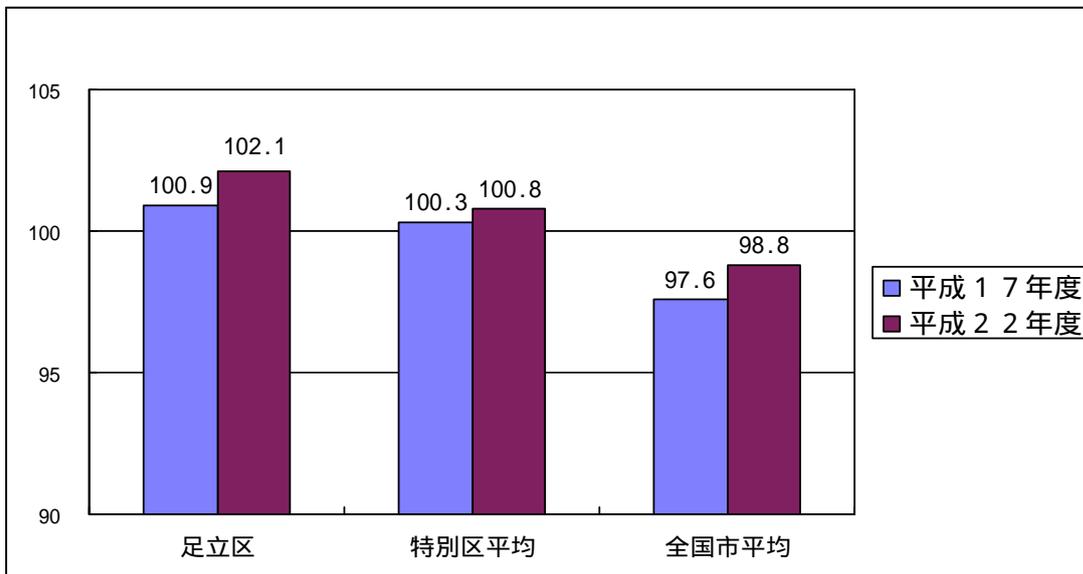
職員手当には退職手当を含みません

職員数は、21年4月1日現在の人数(再任用職員、特別職を除く)

### (3) 特記事項

特になし

### (4) ラスパイレス指数の状況(各年4月1日現在)



ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

平成18年度から国の給与構造改革に伴い、給料表の引き下げとともに、客観的な支給基準に基づく地域手当が導入されたことから、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正した「地域手当補正後ラスパイレス指数」を算出しています。

【参考】地域手当補正後ラスパイレス指数

101.2

(平成22年4月1日現在)

(5) 給与改定の状況

月例給

区分	特別区人事委員会の勧告				給与改定率	国の改定率
	民間給与A	公務員給与B	較差A-B	勧告(改定率)		
22年度	419,202円	420,461円	-1,259円 (-0.30%)	-1,259円 (-0.30%)	-0.30%	-0.19%

「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額

特別給

区分	特別区人事委員会の勧告				年間支給月数	国の年間支給月数
	民間の支給割合A	公務員の支給月数B	較差A-B	勧告(改定月数)		
22年度	3.97月	4.15月	-0.18月	3.95月 (-0.2月)	3.95月	3.95月

「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数

2 一般行政職給料表の状況(22年4月1日現在)

(単位:円)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
1号給の給料月額	138,400	166,100	196,500	222,900	224,100	259,900	288,200	342,400
最高号給の給料月額	311,200	345,900	377,500	419,400	442,000	455,700	469,400	528,500

3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(22年4月1日現在)

一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額(国ベース)
足立区	42.3歳	333,475円	454,182円	410,433円
東京都	42.8歳	337,262円	469,903円	417,583円
国	41.9歳	325,579円	-	395,666円
特別区	43.6歳	340,173円	462,268円	418,038円

技能労務職

区 分	公務員					民間			参考 A / B
	平均年 齢 歳	職 員 数 人	平均給料 月額 円	平均給与 月額 円 (A)	平均給与 月額(国ベ ース)	対応する民間 の類似職種	平均年 齢 歳	平均給与 月額 円 (B)	
足立区	48.9	291	339,656	461,299	423,129	-	-	-	-
うち 清掃職員	45.3	196	324,100	454,791	407,919	廃棄物処理業	44.6	294,000	1.55
うち守 衛	56.7	8	387,700	571,363	477,175	守 衛	54.6	296,300	1.93
うち用務員	55.7	41	373,200	460,741	451,739	用務員	53.8	213,600	2.16
うち 自動車運転	55.6	2	390,200	541,800	487,000	自家用乗用自 動車運転者	56.0	316,900	1.71
その他	54.4	44	366,700	467,198	451,180	-	-	-	-
東京都	46.8	1,815	308,530	416,733	381,518	-	-	-	-
国	49.3	3,955	284,514	-	322,291	-	-	-	-
特別区	48.1	449	313,863	417,420	385,943	-	-	-	-

区 分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C / D
足立区	-	-	-
うち 清掃職員	6,802,511	4,085,100	1.67
うち 守 衛	8,465,311	4,108,700	2.06
うち 用務員	7,077,672	3,008,200	2.35
うち 自動車運転	8,120,930	4,393,400	1.85

民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用（平成19～21年の3ヶ年平均）

「その他」とは、調理、環境技能、作業 及び介護指導等

技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではありません。

年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値

教育職(幼稚園教育職員)

区 分	平均年 齢	平均給料月額	平均給与月額
足立区	46.6歳	383,200円	514,270円
東京都	42.4歳	360,742円	461,224円
特別区	39.3歳	333,355円	429,603円

「平均給料月額」とは、平成22年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均  
「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているもの。

また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したもの。

(2) 職員の初任給の状況(22年4月1日現在)

区 分		足立区	東京都	国
一般行政職	大学卒	181,200円	181,200円	種 181,200円 種 172,200円
	高校卒	143,000円	142,700円	140,100円
技能労務職	高校卒	134,900円	137,200円	-

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額(22年4月1日現在)

区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	279,527円	320,421円	370,826円
	高校卒	225,433円	271,007円	317,069円
技能労務職	高校卒	-	258,875円	308,136円

経験年数は、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数

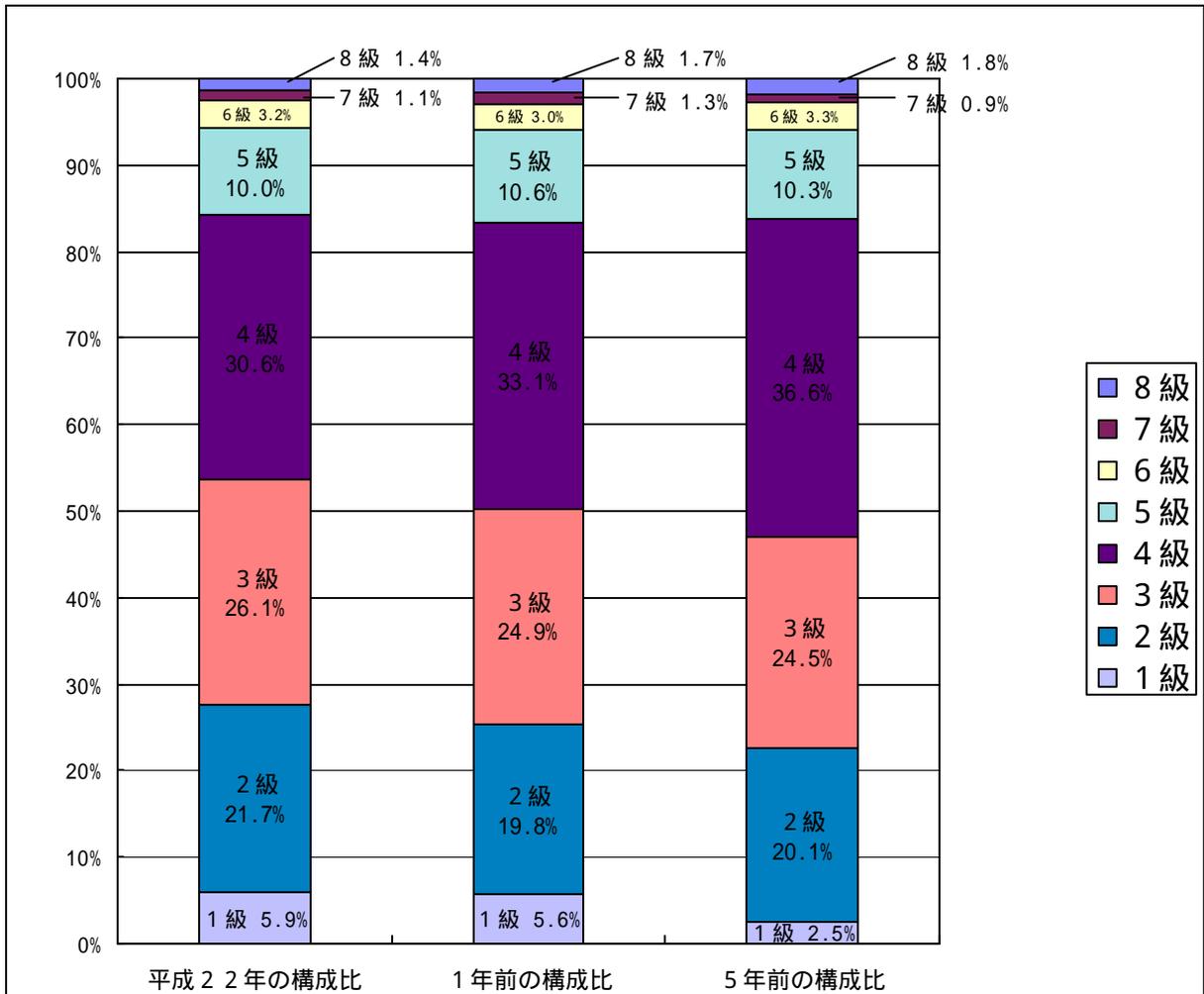
#### 4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況(22年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構 成 比		
				1年前	5年前
8級	部長	31人	1.4%	1.7%	1.8%
7級	統括課長	25人	1.1%	1.3%	0.9%
6級	課長	70人	3.2%	3.0%	3.3%
5級	総括係長	218人	10.0%	10.6%	10.3%
4級	係長・担当係長・主査	668人	30.6%	33.1%	36.6%
3級	主任主事	570人	26.1%	24.9%	24.5%
2級	相当高度の知識または経験を必要とする業務を行う主事	473人	21.7%	19.8%	20.1%
1級	上記各職務の級に属さない主事	128人	5.9%	5.6%	2.5%

職員数は、区の給与条例に基づく給料表の級区分による

標準的な職務内容は、それぞれの級に該当する代表的な職務



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

前年1年間の勤務成績に基づく勤務評価結果を判断基準として、昇給区分Cを標準として5段階の昇給区分（下記参照）を設定し、昇給区分に応じた昇給を毎年4月1日に実施しています。

昇給区分	A	B	C	D	E
昇給号数	6号	5号	4号	3号	昇給なし

A B昇給付与実績（平成22年4月1日昇給分）

管理職

昇給区分	昇給号数	付与人数（人）
A 極めて良好	6号	9
B 特に良好	5号	16

一般職（管理職を除く職員）

昇給区分	昇給号数	付与人数（人）
A 極めて良好	6号	293
B 特に良好	5号	602
D やや良好でない	3号	5
E 良好でない	0号	1

## 5 職員の手当の状況

### (1) 期末手当・勤勉手当(22年4月1日現在)

足立区	東京都	国
1人当たり平均支給額 (21年度) 1,649千円	1人当たり平均支給額 (21年度) 1,760千円	
<21年度支給割合> 期末手当 2.75月分 勤勉手当 1.40月分 (1.50月分) (0.70月分)	<21年度支給割合> 期末手当 3.15月分 勤勉手当 1.00月分 (1.65月分) (0.55月分)	<21年度支給割合> 期末手当 2.75月分 勤勉手当 1.40月分 (1.50月分) (0.70月分)
<加算措置の状況> 職制上の段階、職務の級等による加算措置 職務段階別加算 2~20% 管理職加算 15~20%	<加算措置の状況> 職制上の段階、職務の級等による加算措置 職務段階別加算 3~20% 管理職加算 15~25%	<加算措置の状況> 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~20% 管理職加算 10~25%

( )内は、再任用職員に係る支給割合

#### 【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況(一般行政職)

管理職、係長級及び主任主事の職員について、前年1年間の勤務実績に基づく勤務評定結果を判断基準として、中位を標準として5段階(下記参照)の成績段階を設定し、成績段階に応じた割合の勤勉手当を支給しています。

管理職は平成14年度、係長級は平成20年度、主任主事は平成22年度から実施しています。

#### 成績段階ごとの支給割合

	最上位	上位	中位	下位	最下位
管理職	支給の都度区長が定める		990/1000	965/1000	940/1000
係長級	支給の都度区長が定める		9950/10000	9825/10000	9700/10000
主任主事	支給の都度区長が定める		9960/10000		

全該当職員が一律拠出した額及び下位・最下位から拠出した額を原資として、一定の割合により上位、最上位に再配分した額をもって支給割合を決定します。

#### 付与実績(平成21年6月支給分)

##### 管理職

成績率の段階	付与人数(人)
最上位	5
上位	6
下位	5
最下位	4

##### 一般職(係長級)

成績率の段階	付与人数(人)
最上位	27
上位	59

## (2) 退職手当(22年4月1日現在)

足立区			国		
<支給率>	自己都合	勸奨・定年	<支給率>	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	24.25月分	33.50月分	勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	32.50月分	43.50月分	勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	49.75月分	59.20月分	勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	50.00月分	59.20月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分
<その他の加算措置>			<その他の加算措置>		
定年前早期退職特例措置(2~20%加算)			定年前早期退職特例措置(2~20%加算)		
在職中の職級等に応じた調整額					
退職時特別昇給(公務上の死亡8号給等)					
<1人当たり平均支給額>			<1人当たり平均支給額>		
自己都合 5,137千円			未公表		
定年・勸奨 25,821千円					

1人当たり平均支給額は、21年度に退職した職員に支給された平均額

## (3) 地域手当(22年4月1日現在)

支給実績(21年度決算)		2,402,518千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)		649,686円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
足立区	17%	3,690人	17%

## (4) 特殊勤務手当(22年4月1日現在)

支給実績(21年度決算)		50,767千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)		74,222円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(21年度)		18.6%	
手当の種類(21年度手当数)		7種類	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給単価
特殊現場業務手当	建築・土木	足場10m以上	日額390~550円
精神保健福祉相談業務手当	保健師	精神保健訪問相談	日額240円
防疫等業務手当	検査技術・保健師	類感染症・結核	日額230~390円
福祉事務所業務手当	事務・福祉・介護指導	訪問指導・面接	日額310~620円
取締・折衝等業務手当	建築・保健衛生監視	違反建築・公害実査	日額310~350円
心身障がい者施設等業務手当	福祉・心理・理学療法	指導介護・生活実習	日額310~390円
清掃業務手当	作業・自動車運転	廃棄物処理	日額700円

## (5) 時間外勤務手当

支給実績(21年度決算)	890,961千円
職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)	241千円
支給実績(20年度決算)	785,192千円
職員1人当たり平均支給年額(20年度決算)	234千円

( 6 ) その他の手当 ( 2 2 年 4 月 1 日現在 )

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (21年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (21年度決算)
扶養手当	・配偶者 13,700 円 ・配偶者を除く扶養親族のうち2人まで 5,500 円 ・その他の扶養親族 5,500 円 ・16歳～22歳の子がいる場合の加算 4,000 円	異なる	支給金額(配偶者 13,000 円、その他の親族 6,500 円等)	279,177 千円	185,377 円
住居手当	・扶養親族を有する世帯主 8,800 円 ・扶養親族を有しない世帯主 8,300 円	異なる	内容・金額(賃貸住宅 27,000 円限度等)	218,355 千円	102,562 円
通勤手当	・交通機関利用者(電車、バスなど)...運賃相当額(原則6カ月定期券額) 1カ月当たりの支給限度額 55,000 円 ・交通用具使用者(自転車など)...使用距離に応じて支給	同じ	-	391,845 千円	129,194 円
管理職手当	職に応じて 56,000～142,400 円	異なる	支給割合	168,611 千円	1,170,910 円
初任給調整手当	医師の勤続期間区分に応じて 52,000～175,100 円	異なる	支給対象者等	11,433 千円	1,905,600 円
単身赴任手当	月額 20,000 円(交通距離の区分により加算額 3,000～7,000 円)	異なる	距離による加算額等	0 円	0 円
休日給・夜勤手当	休日・夜間(午後10時～翌日午前5時)の勤務に対し支給	同じ	-	121,776 千円	218,630 円
宿日直手当	宿直・日直の勤務時間数に応じて、1回 4,550～11,100 円	異なる	支給単価等	4,382 千円	32,227 円
子ども手当	中学校修了までの子どもを監護し、生計を同じくしている者 13,000 円	同じ	-	-	-

6 特別職の報酬等の状況 ( 2 2 年 4 月 1 日現在 )

区分	給料月額等	(参考)特別区における最高/最低額
給料	区長	1,119,000 円
	副区長	897,000 円
報酬	議長	949,000 円
	副議長	813,000 円
	議員	619,000 円
期末手当	区長	(22年度支給割合) いずれも、3.35月分
	副区長	
	議長	
	副議長	
	議員	
退職手当	区長	(算定方式) 1,119千円×在職年数×500/100 (1期の手当額) 22,380千円
	副区長	897千円×在職年数×350/100 12,558千円

1期の退職手当額は、給料月額および支給率に基づき、1期(4年)勤めた場合における退職手当の見込額

## 7 職員数の状況

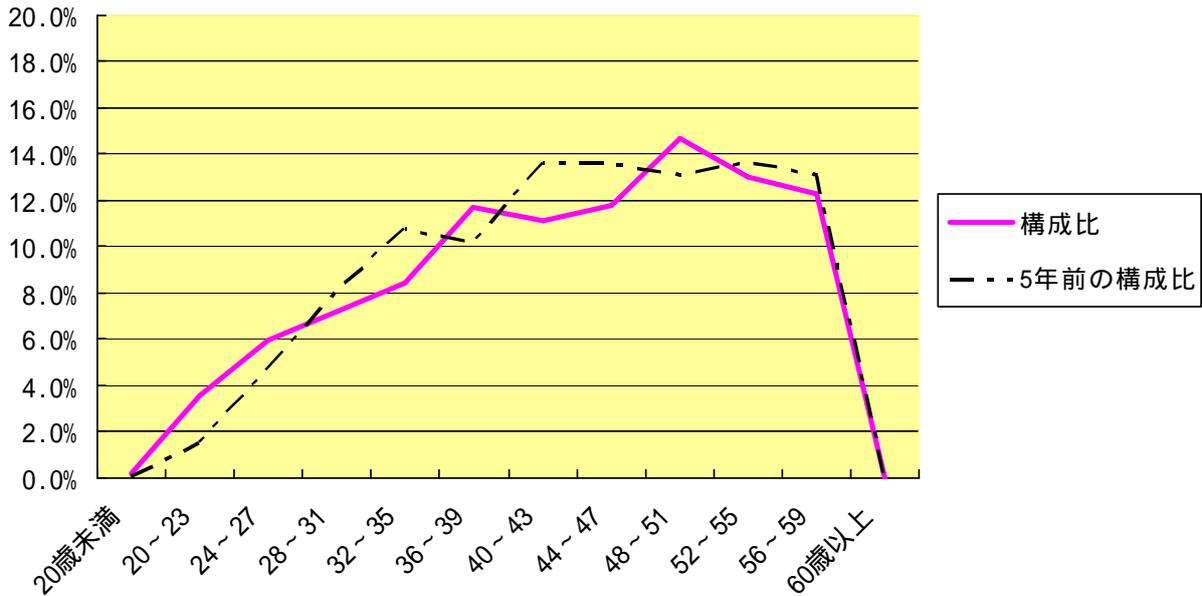
### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由	
		平成 21 年	平成 22 年			
普通会計部門	一般行政部門	議 会	16	16	0	
		総 務	580	590	10	国勢調査の実施に伴う事務量増
		税 務	110	111	1	税システム開発に伴う増
		労 働	13	12	-1	内部努力による減
		農林水産	5	5	0	
		商 工	45	45	0	
		土 木	491	484	-7	技能系職員退職不補充による減
		民 生	1,461	1,479	18	生活保護世帯の増加に伴うケースワーカーの増
		衛 生	516	500	-16	清掃作業員退職不補充等による減
		計	3,237	3,242	5	<参考> 人口1万人当たり職員数 50.41人 (特別区の人口1万人当たりの職員数 61.66人)
	教育部門	269	258	-11	学校用務職員退職不補充等による減	
小 計	3,506	3,500	-6	<参考> 人口1万人当たり職員数 54.43人 (特別区の人口1万人当たりの職員数 71.52人)		
公営企業等会計部門						
	その他	129	133	4	医療、年金システム開発に係る体制強化による増	
	小 計	129	133	4		
合 計 [ 条例定数 ]		3,635 [3,552]	3,633 [3,507]	-2 [-45]	<参考> 人口1万人当たり職員数 56.49人	

職員数は一般職に属する人数

( 2 ) 年齢別職員構成の状況 ( 2 2 年 4 月 1 日 現在 )



区 分	20歳 未 満	20歳 } 23歳	24歳 } 27歳	28歳 } 31歳	32歳 } 35歳	36歳 } 39歳	40歳 } 43歳	44歳 } 47歳	48歳 } 51歳	52歳 } 55歳	56歳 } 59歳	60歳 以上	計
職員数	6人	129人	219人	263人	304人	425人	405人	427人	535人	472人	447人	1人	3,633人

( 3 ) 職員数の推移

( 単 位 : 人 ・ % )

部 門 別 \ 年 度	1 7 年	1 8 年	1 9 年	2 0 年	2 1 年	2 2 年	過去5年間の 増減数 ( 率 )
一般行政	3,496	3,433	3,353	3,271	3,237	3,242	254 ( 7.3% )
教育	416	366	325	291	269	258	158 ( 38.0% )
普通会計計	3,912	3,799	3,678	3,562	3,506	3,500	412 ( 10.5% )
公営企業会計計	120	121	119	123	129	133	13 ( 10.8% )
総合計	4,032	3,920	3,797	3,685	3,635	3,633	399 ( 9.9% )

各年における定員管理調査において報告した部門別職員数